

授業概要

本講義は、家計によってほぼ例外なく利用されている現代の金融機関及び資本市場について、消費者の立場からこれを平易に解説しようとするものである。金利・為替の基礎知識から仮想通貨・フィンテックの最新技術まで、消費者の視点から見た身近で優しい金融論を講義する。

これからは、国や企業が一般国民を守ってくれないかもしれない。自己責任の原則が叫ばれているように、自分の未来は自分で何とかしていかなければならない時代になった。こういう時代には、「金融」に関する知識を身につけ、如何にして自分が持っている資産を上手に運用できるかが重要となる。この講義がその手助けになればと思う。

授業計画

第1回	イントロダクション・講義の概要、進行方法、評価方法
第2回	金融システム/お金を運ぶ仕組みのことを講義する
第3回	金融市場/短期金融市場と長期金融市場について講義する
第4回	金融機関/民間金融機関と政府系金融機関について講義する
第5回	金融商品/直接金融型と間接金融型について講義する
第6回	インターネット金融/インターネット銀行の活用法について講義する
第7回	企業の資金調達/負債と株式を発行するエクイティによる資金調達を講義する
第8回	金融規制/政府の銀行への関与、様々な方法で金融に関与していることを講義する
第9回	利子率/利子は、高く低くなったり、借りの条件や人によって違ったりすることを講義する
第10回	株価/株式の収益やリスクはどのようなもので、それはどのように決まるのかを講義する
第11回	為替レート/通貨の交換比率、すなわち、為替レートの決定要因を講義する
第12回	貨幣市場の需要と供給/中央銀行のマネースtockコントロールについて講義する
第13回	金融政策/中央銀行が物価の安定や経済の安定化のために行う金融政策について講義する
第14回	欧米の金融事情/「リーマンショック」とは何だったのかを講義する
第15回	中国の金融事情/貨幣政策、資本市場、金融セクターについて講義する
第16回	筆記試験

到達目標

現代の金融にまつわる様々な問題を見据えつつ、その役割について基礎から学ぶことができることを目標としている。

履修上の注意

この授業は、講義形式を中心とするが、受講者の主体的な参加を重視する。この授業で出る金融経済実態や課題について、質問や議論に積極的に取り組んでほしい。試験及びレポートの際に自筆のノートを参照するので、授業を欠席せずにノートをよくとってもらいたい。授業開始後30分以上の遅刻は、欠席扱いとする。

予習・復習

授業のレジュメを把握し、参考書の該当箇所と新聞・WEBサイトの金融経済に関する記事をよく読むこと。配布した参考資料を読み、授業時に示す課題について回答レポートを作成すること。

評価方法

学期末試験 70%、授業内レポート 20%、受講態度 10%。

テキスト

最新の情報をもとに講義を進める。だから講義の中では特定の教科書は使用しない。毎回の講義では、随時良い文献などを紹介していく。